

CDEJ

Certified Diabetes Educator of Japan

© CDEJ認定機構



CDEJ（日本糖尿病療養指導士）とは？

- 糖尿病治療にもっとも大切な患者さんの自己管理（療養）を指導する医療スタッフ
- 高度で幅広い専門知識をもち、患者さんの糖尿病セルフケアを支援
- 一定の経験を有し試験に合格した看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士に与えられる資格



CDEJ に認定されるには ？

1. 認定試験の受験資格(2025年度から変更)

- ① 医療職の資格(看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士のいずれかの資格を有する)
- ② 一定の条件を満たす医療施設に勤務し、過去10年以内に通算2年以上(※)糖尿病療養指導業務に従事した方で、かつこの間に通算1,000時間以上糖尿病患者の療養指導を行ったこと

※業務従事期間が継続6ヶ月に満たない場合は算入不可とします。ただし、異動、転職等により施設を変更した場合、1施設で6ヶ月未満でも、変更前後の期間合わせて継続6ヶ月以上あれば、算入可とします

- ③ 上記期間中に、自分が携わった糖尿病療養指導の自験例を10例有する
- ④ 認定機構の講習(受験者用)を受講修了している

CDEJ に認定されるには ？

2. 申請書類を提出する

受験資格審査

3. 認定試験を受ける ⇒ 合格

「客観試験」と「糖尿病療養指導自験例の記録」の総合評価

※「客観試験」は1～2月にCBTで実施

4. 認定期間は5年間

5年毎に更新



認定更新

1. 認定更新の条件

- ① 認定機構が認める施設で通算3年以上糖尿病療養指導の業務に従事している
- ② 認定機構主催の講習会(認定更新者用)を1回以上受講し、修了している
- ③ 自己の医療職研修20単位および糖尿病療養指導研修20単位を取得している
- ④ あらたな糖尿病療養指導の自験例を10例以上有している

2. 認定期間延長

特別な事情(育児、介護、病気療養など)で更新が不可能の場合、認定期間を延長することができる



糖尿病療養指導チームメンバーの役割分担(例)*

糖尿病療養指導ガイドブック より

療養指導項目	医師	看護師 准看護師	管理栄養士 栄養士	薬剤師	臨床検査技師	理学療法士
糖尿病の診断、治療方針の決定	●					
療養における自己管理の意義	○	○	○	○	○	○
療養上の課題/問題把握**	●	●	○	○	○	○
食事療法の概要	○	○	○	○	○	○
栄養管理の意義	●	○	●			
献立・調理の理論と実践	○		●			
薬物治療の概要	○	○	○	○	○	○
薬剤の作用機序	●			●		
服薬指導	○	○		●		
自己注射指導	○	●		●		
糖尿病に関する検査の概要	○	○	○	○	○	○
検査の意義	●	○	○	○	●	○
血糖自己測定	○	○		○	○	
運動療法の概要	○	○	○	○	○	○
運動の種類と効果	●					●
運動の実践方法と評価	○	○				●
療養指導の計画と立案	●	○	○	○	○	○
療養指導の実践と評価	○	●	○	○	○	○

○:一般的であるが患者教育として必要なもの、●:特に専門知識を必要とするもの

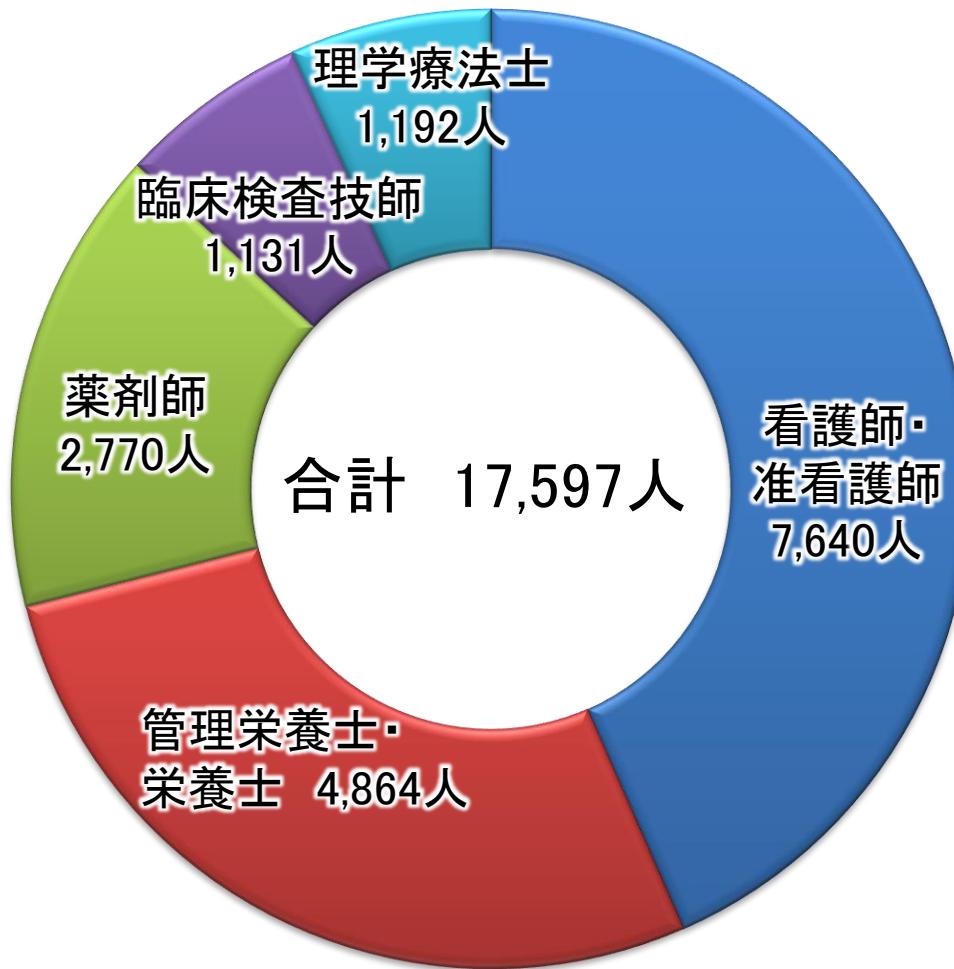
*:この表は各職種の役割分担の1例である。表に示した●の役割を担う、医師以外の職種がない施設では、医師、あるいは医師の指示のもとで他の職種がその役割を分担する。

**:療養上の知識・生活経験に関して、情報収集・アセスメントし、過大や問題点を明確化する。

© CDEJ認定機構



CDEJの数

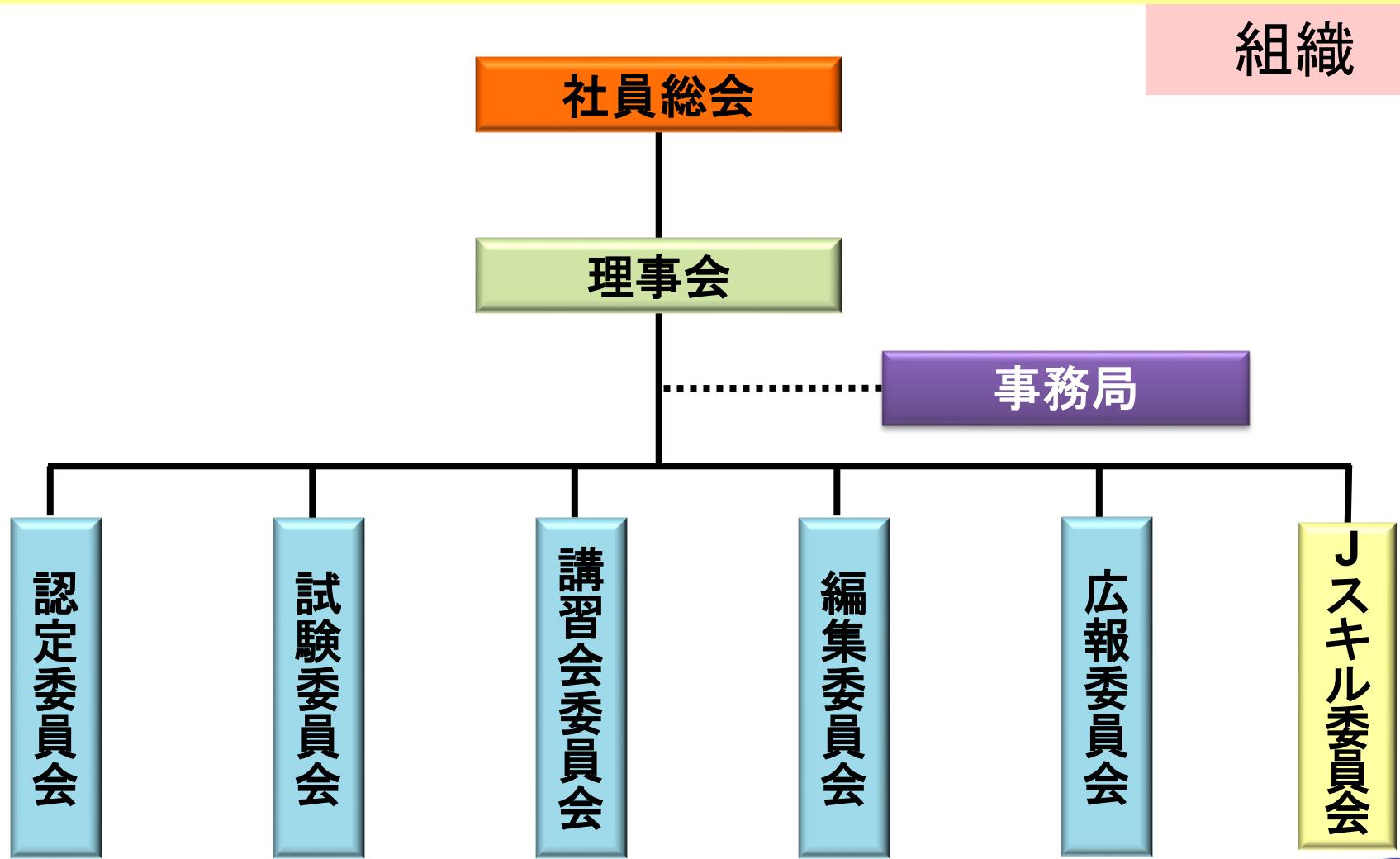


2025年6月現在（准看護師、栄養士の受験は第5回認定試験まで）

© CDEJ認定機構



CDEJ認定機構



© CDEJ認定機構

CDEJ認定機構

1. 講習会の開催

受験者用講習を実施

認定更新者用の講習会を開催

2. 認定試験の実施

年1回(「客観試験」と「自験例の記録」)

3. ガイドブックの発行

「糖尿病療養指導ガイドブック」(毎年発行)

4. 認定証の交付

認定試験合格者・更新者に「日本糖尿病療養指導士」の認定証を交付

5. 認定資格の審査

認定試験受験資格審査、認定更新審査(5年毎)、認定期間延長審査など

6. 広報活動

CDEJ News Letterの発行(年4回)、Webサイトの運営など

7. Jスキルコース

単位の取れるeラーニングの制作

主な事業(活動)

© CDEJ認定機構

